

事業評価票

114	診療情報の保全 (病院経営本部サービス推進部/病院会計)	事業開始	平成 26 年度
		事業終了予定	平成 ー 年度

【局評価】

1	どのような経緯で事業を始めたか、何を指すのか
<p>○ 東日本大震災という未曾有の大災害を契機に、災害発生時においても、電子カルテ情報や医用画像情報等の診療情報を確実に保全し、診療の継続を確保する対策の強化を目指している。</p>	
根拠法令等	

2	どのように取り組み、どのような成果があったか
<p>○ 平成26年度には、電子カルテ情報のバックアップのために適切なシステム及び遠隔地データセンター等を選定し、導入を完了した。</p> <p>○ また、発災時のデータ復元方法について、被災のレベルや段階に応じた対応手順を策定した。</p>	

3	どのような課題や問題点があったか
<p>○ 平成27年度に導入する多摩メディカルキャンパス内3病院（多摩総合医療センター・神経病院・小児総合医療センター）の医用画像バックアップについて、災害に備えて継続的な運用が必要であり、ランニングコストが発生することとなる。</p> <p>○ 費用削減の観点から、バックアップの契約方法について検討する必要がある。</p>	

4	局として、事業をどうしていきたいか						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">拡大・充実</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">見直し・再構築</td> <td style="width: 25%;">移管・終了</td> <td style="width: 25%;">その他</td> </tr> </table>		拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他		
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他				
<p>○ データセンターとの契約を導入時に一括で行うと、現在保有しているデータ容量より過大なデータ容量での契約となるため、保存データ容量等に応じて年度ごとに行う契約とすることで、コストの削減を図っていく。</p> <p style="text-align: center;"><ランニングコスト(単年度)比較> (単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">一括契約 (A)</th> <th style="width: 33%;">年度毎契約 (B)</th> <th style="width: 33%;">差 引 (B-A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>51,902</td> <td>26,052</td> <td>△ 25,850</td> </tr> </tbody> </table>		一括契約 (A)	年度毎契約 (B)	差 引 (B-A)	51,902	26,052	△ 25,850
一括契約 (A)	年度毎契約 (B)	差 引 (B-A)					
51,902	26,052	△ 25,850					
歳入	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">26年度決算額</td> <td style="width: 50%;">— 千円</td> </tr> <tr> <td>27年度予算額</td> <td>— 千円</td> </tr> <tr> <td>28年度見積額</td> <td>— 千円</td> </tr> </table>	26年度決算額	— 千円	27年度予算額	— 千円	28年度見積額	— 千円
26年度決算額	— 千円						
27年度予算額	— 千円						
28年度見積額	— 千円						
歳出	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">26年度決算額</td> <td style="width: 50%;">23,876 千円</td> </tr> <tr> <td>27年度予算額</td> <td>74,457 千円</td> </tr> <tr> <td>28年度見積額</td> <td>80,157 千円</td> </tr> </table>	26年度決算額	23,876 千円	27年度予算額	74,457 千円	28年度見積額	80,157 千円
26年度決算額	23,876 千円						
27年度予算額	74,457 千円						
28年度見積額	80,157 千円						

【財務局評価】

5	財務局として、成果や課題などについて、どう考えたか
<p>○ 電子カルテ等の診療情報を保全することは、災害時における診療継続のために必要な取組であり、医用画像についても、診療のために必要な情報であるため、バックアップを行う必要性は認められる。</p> <p>○ バックアップを行うことで、運用経費が経常的に発生することとなるが、契約手法について検討を行い、コスト削減を図っている。</p> <p>○ 一方で、保存データ容量を勘案したうえで、毎年度契約手法の見直しを図る必要がある。</p>	

6	28年度予算で、どのように対応したか				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">拡大・充実</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">見直し・再構築</td> <td style="width: 25%;">移管・終了</td> <td style="width: 25%;">その他</td> </tr> </table>		拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他		
<p>○ 見積額のとおり計上する。</p>					
歳入	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">28年度予算額</td> <td style="width: 50%;">— 千円</td> </tr> </table>	28年度予算額	— 千円		
28年度予算額	— 千円				
歳出	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">28年度予算額</td> <td style="width: 50%;">80,157 千円</td> </tr> </table>	28年度予算額	80,157 千円		
28年度予算額	80,157 千円				